

# あそこを語ろう vol.19

トップレベルで活躍する選手たちも、ハンドボールを始めたばかりの時は失敗したり、うまくいかないこともあったはず。今回登場してもらったのは北陸電力の榎田亮介選手。ベテラン左腕にハンドボールを始めた「あそこ」を語ってもらった。

## 榎田亮介 〈北陸電力〉

# 「本気でハンドボールと向き合ってから人生が変わった」

### プロフィール

くしだ りょうすけ

1977年6月29日、奈良県生まれ / 185cm / 90kg / 左利き / BP

一条高(奈良) → 中部大 → 本田技研(現HONDA) → ホンダ熊本 → ESVビルナ(ドイツ) → 北陸電力

ハンドボールを始めた一条高では全国大会と無縁な生活を送っていたが、中部大4年時に蒲生晴明さんが監督になったことが1つの転機に。卒業後は本田技研からホンダ熊本に移り、2003年から単身ドイツへ。ヒザの大ケガを負い選手生命が危ぶまれたが、長いリハビリを乗り越え復帰。北陸電力に09年から加わり、DFでチームを支えつつ、後進の指導という役割も担っている。

## 父

がやっていた影響もあって、小学校の時は野球をしていました。そのまま

中学でも野球部に入り、ハンドボールは体育の授業で知りました。その時からハンドボールは好きだったし、授業をしていた先生に何度かハンド部に誘われていたこともあって、興味はありました。

結局、一条高(奈良)に進学してから、本格的にハンドボールを始めることにしました。単純にほかのスポーツを試してみたかったし、ハンドボールなら野球と同じ投げるスポーツだったというのも大きかったと思います。

### 専門的なことに飢えていた

当時の一条高はコートの縦が30mぐらいしかなくて、その中で男女いっしょに練習していました。部活というより、大学のサークルに近いノリでしたね。同級生は15人ほどいましたが、兼部していたり、夏休みには海外へホームステイに行ったりしていました。入っているだけ、試合だけに来る部員もいました。

ちゃんと指導してくれる先生がいなかったのが、計画的な練習なんてほとんどしたことがありません。ただ、みんなやると決めたことはほとんどやっていますよ。炎天下の中ひたすら走ったりとか。

あと、とにかくシュートを打っていました。先輩たちに「流しの上が基本」と言われていたので、そればかり打ち続けていました。

顧問がいなかったこともあり、ハンドボールの専門的な知識なんて当時はほとんど知りませんでした。そもそも、県大会を勝ち抜いたらインターハイがあるということすら知らなかったです(笑)。



そういう状況だったからかもしれないが、高校生の時はハンドボールの知識に飢えていました。県内の試合でうまい選手がいたら、ひたすらビデオを観てマネしました。このころは、世の中に添上高（奈良）より強いチームがあるなんて思ってもなかったんです。

だから近畿大会を観た時は衝撃的というかカルチャーショックでした。

### 蒲生さんとの出会い

た。高2の近畿大会がたまたま奈良開催で、試合を観に行ったんですけど、そこでもすごい選手がいて、もうなにがなんだか…。その選手は、桃山学院高（大阪）の小藪さん（憲次、元湧永製菓、現ソニーセミコンダクタ監督）でした。

大学でハンドボールを続けること

は考えていなくて、最初は普通に進学しようと考えていました。転機になったのが高校3年時。確かインターハイ予選で、正強高（奈良、現・奈良大附高）に敗れたんですけど、相手の先生が試合後に「大学でハンドボール続ける気はあるか」と僕にある大学のパンフレットを見せてくれたんです。それが中部大でした。まったくどこの大学が強いとか知

らないまま、せっかくなんで中部大の練習に参加しました。そうしたらみんなデカくて速くてうまい。ビックリしましたね。でもこの人たちといっしょにやってみたいなと思いました。

中部大に合格して、すぐに故・山崎正利部長に連絡したんですけど、忘れられて「だれだったっけかな」と言われましたけどね（笑）。

緩い高校の部活から急に上下関係の厳しいところに飛び込んだので、慣れるまで大変でした。1年の時なんかは、僕のちょっとしたミスで同級生に迷惑をかけないようにとビックリしていました。

ただ練習は楽しかったですよ。全体練習後に、一番下手な僕に同級生がサイドステップから教えてくれました。左利きで大きかったのも、上からのシュートをひたすら練習しました。同級生が「そのシュートを4年の時に決められるようになったらいい」と言ってくれたのはうれしかったですね。「その代わり、おれたちに単位を取らせてくれよ」と、ギブ&テイクの関係ですね（笑）。



◀ 中部大4年時は西日本インカレ準優勝。しかし、全日本インカレではベスト8に終わった

大学では3人の監督のもとでプレーしましたが、一番影響を受けたのは、4年時の蒲生晴明さんです。

蒲生さんにはポストとの関係や、DFに対する位置関係など細かなところを教えてもらいました。どの練習がとより、すべてが印象的です。蒲生さんが教えてくれたことが、間違いなく僕のベースになっています。この時は、毎日練習に行くのが楽しかったし、毎日成長している実感がありました。

蒲生さんに「お前は30才ぐらいになったらいい選手になる」と言われたんですけど、本人は覚えていないらしいです（笑）。でもこの言葉があったからつらい時も続けられました。

そういえば高3の生駒高（奈良）との試合のビデオは、大学生になってからも観ていました。高校の時代で一番悔しかった試合です。あの試合を勝てれば近畿大会へ行けたんですが、7点差をひっくり返され

「（本田の時は）レギュラーを取る自分が

イメージできなかつたけど、

将来のためにがんばった」

で、本当に悔しかったです。

高校生の僕は典型的なボールウォッチャー。ステップも平気で8、9歩歩いていたり、シユートもとんでもないぐらい枠外に打ってました。大学4年の時、僕がどれだけ練習してうまくなったのかわかってもらおうと、この試合をチームメイトに観せたらみんな驚いていましたよ。「これが榎田さん？ やばいでしょこれ！」って感じで（笑）。

できることをやり切る

大学卒業後の進路も日本リーグに行くことは考えていなくて、就職活動をしていました。たまたま最後の西日本インカレで準優勝して、その時の活躍を見た人が、僕を誘ってくれて入社を決めました。それが本田

技研（現HONDA）です。

当時の本田は、右バックにステファン・ストックラン（元フランス代表）と日本代表の茅場清さんがいて、とてもレギュラーを獲れるイメージが湧きませんでした。

あの時は毎日吐きながら練習に行くぐらいきつかったですね。ただ、ハインドボール自体は好きだったし、将来は指導者になりたいと思い始めた時期でした。蒲生さんにも「3年間はやってみる」と言われていました。日本一のチームで練習でき、間近でストックランから学べる。世界的なGKの橋本行弘さんやフレデリック・ヴォル（元フランス代表）には人間的に成長させてもらいました。試合には出られないけど、個人的には成長しているなと感じていました。

※注1…ナショナルトレーニングシステム。日本協会が実施した若年層から日本代表までの一貫指導体制。  
 ※注2…神経系がほぼ完成に近づく時期。8～12才の間を示す。

2年目か3年目の時に、NTS(※注1)のインストラクターとして近畿ブロックの小学生の指導を任せられました。練習後に、真弓クラブ(奈良)の松本哲志さんが声をかけてきてくれたことがきっかけで、かかわりを持つようになりました。指導に楽しさが出てきた時期で、その時は引退も考えていました。ある中学の先生に相談したら「まだ早い。もっとやり切つてからの方がいい」と言われました。真弓クラブの子どもたちも「私たちががんばるから、くっしー(榎田選手の愛称)もがんばりや」と言われたりして、もうちょっとがんばろうと思ひ、ホンダ熊本への移籍を決めました。

ホンダ熊本に移つてからはいろいろな学校に教えに行つたりしました。千原台高で藤本(純季、トヨタ車体)や野田(巨樹、トヨタ紡織九州)たちを教えたこともあります。

蒲生さんに教わっている間、もしも自分が中学、高校のころにこういう専門的な指導を受けていたらどうなつていたのだろうという気持ちでした。20代に1000回やって学ぶ

▶ 出場機会を求め、2003年にホンダ熊本へ移籍。豪快なシュートを放つていた



ことも、ゴールデンエイジ(※注2)ではすぐに覚えたりしますよね。自分が高校で飢えていたこともあり、強豪校でない学校にもこれまで学んできたことを還元したいと思つています。

ありがたいことに、年に10数回「夢先生」(日本サッカー協会のプロジェクト)で子どもたちの前に立たせてもらっています。僕は本気でハンドボールに打ち込めてないことに気づ

き、大学から本気で向き合うようになってから人生が変わつてきました。子どもころ、夢がなかった僕でもこうなれるから、みんなも本気になればかなえられると、夢先生では話しています。

本気になるから楽しいし、そうすると水くみ1つから行動が変わってきます。子どもたちには本気になつて、すべての過程を楽しんでほしいと思つています。

読者プレゼント!



榎田選手のサイン入りTシャツ(写真)を1名さまにプレゼントします。

①氏名(ふりがな) ②住所③年令、または学年④電話番号⑤今月号でおもしろかった記事を3つとその理由⑥榎田選手へのメッセージを明記のうえ、152ページ下欄の宛先に「榎田選手サイン入りシャツプレゼント係」として、ハガキ、FAX、メールでお送りください。締め切りは11月末日(消印有効)。当選者は3月号誌面上で発表。

[11月号 原希美選手サイン入り色紙当選者] 大光寺恵さん、生島真希さん